

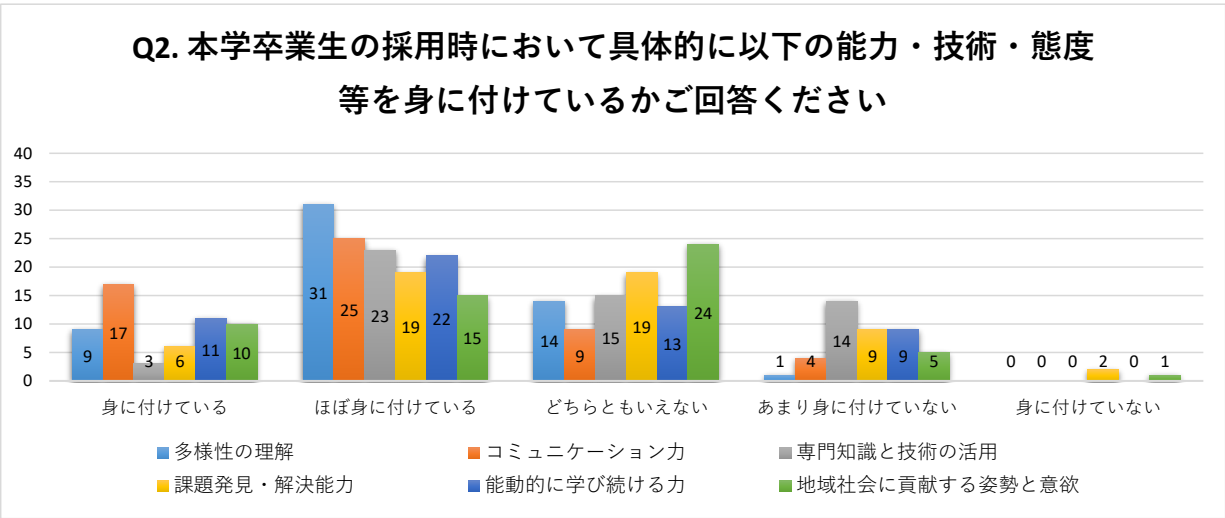
教育成果に関するアンケート調査について(2026年実施)

実施時期: 令和8年7月1日から7月10日
回答方法: Googleフォーム
対象施設: 令和6年度就職先施設
送付数: 70施設
回答数: 56件
回答率: 80%

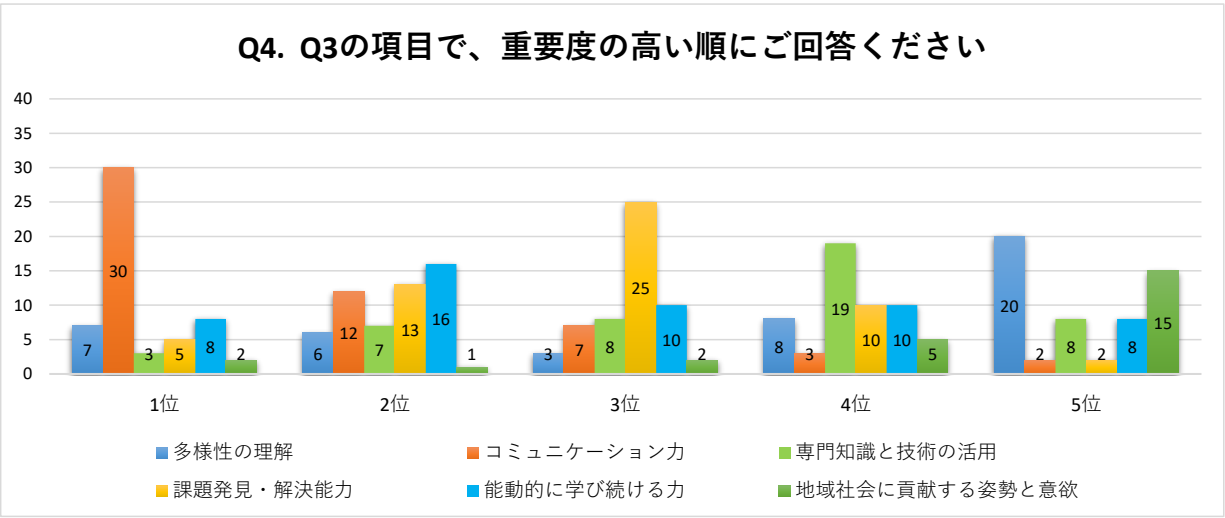
Q1. 本学卒業生の職名についてご回答ください

理学療法士	作業療法士
41	16

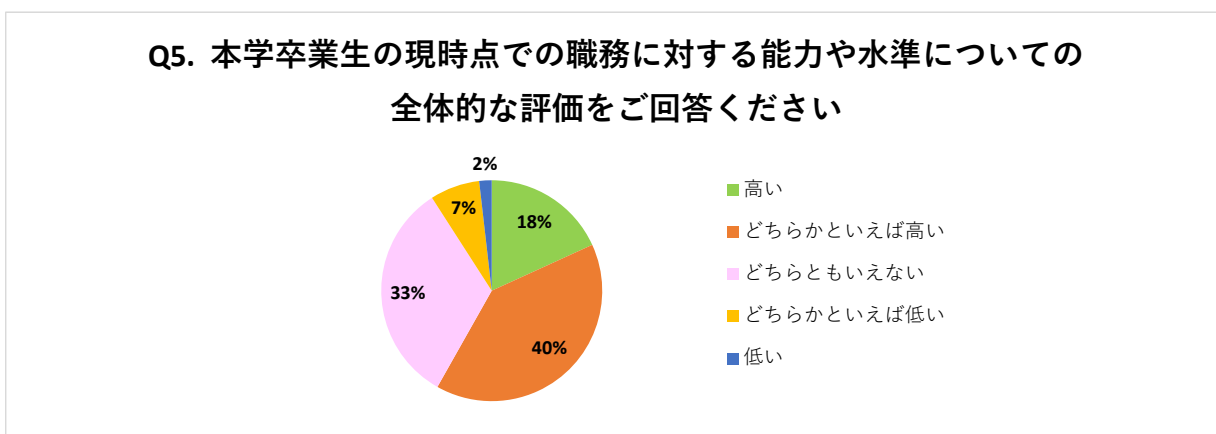
Q2. 本学卒業生の採用時において具体的に以下の能力・技術・態度等を身に付けているかご回答ください



Q3. Q2の項目で、重要度の高い順にご回答ください



Q4. 本学卒業生の現時点での職務に対する能力や水準についての全体的な評価をご回答ください



Q5. 学生時代に身に付けておいて欲しい能力や資質、経験して欲しいことについてご回答ください(自由記載)

幅広い世代との交流で、物怖じせず発言できるベースが構築できていると、スムーズに業務に入れます。
目の前の課題やこれからの起こりうる課題に対して、解決するためにまずは自身で学ぶ力・意識などを身につけておいてほしい。
先輩スタッフに積極的に質問する姿勢。受け身なことが多い印象。
学び続ける力(就職したあとも専門性を高めるために研鑽を続けることの必要性)
報告連絡相談ができる方に入職して頂けました。専門性も大切ですが、なにより報連相を的確にできることが大切であると思います。そのベースの中で基本的技術や知識があれば入職後のスムーズな展開となり、当人のキャリア形成や現場のメリットも高いと感じます。報連相が適切に行える学生さんが多く育つ土壌が貴校にはあると思います。今後ともよろしくお願いいたします。
学生時代には、同期・先輩・上司など、立場の異なる相手と円滑にコミュニケーションを図る力を身につけていただきたいと考えています。特に、相手への配慮や伝えるタイミングを意識しながら、自分の考えを適切に伝える力、また相手の立場に立って物事を考え、行動できる力は、臨床現場において非常に重要です。また、物事がうまくいかなかった際に、その原因を他者や環境だけに求めるのではなく、自分自身の行動や考え方を振り返り、次にどう活かすかを考えられる姿勢も大切だと感じています。学生時代から、自ら考え、学び、行動する主体性を育んでいただけると、社会人として、また医療専門職としての成長につながると考えます。
端的に示すとコミュニケーション能力が高ければ、他の要素は入職してから成長はいくらでも可能と考える。専門人としてではなく個人、人として会話ができる(特に人の話を聞くことができる)ことが、人を相手にする仕事として最優先に出来なければ、なかなか仕事として進めていく事が難しいのではないかと常日頃思うところです。本アンケートの対象となっている学生は、そのあたりが非常に長けており、また、自分の短所も理解している事から、スムーズに社会人として歩んでいると感じます。
傾聴、共感、説明等の実践的なコミュニケーション能力。明るく元気で素直な人柄。悩んだら相談するという経験。
人の話を吸収する力、人に対して発信する力が高い学生さんがいるとありがたいです。
AIが普及・発展してきているため、AIリテラシーなどAIに関する知識など経験・学習できるのも良いかと思いました(すでに取り入れていましたら申し込みありません)。
接遇に関することについて身に付いていると業務開始がスムーズに行えます。また、他者からの助言を素直に受け取れる方が伸び代も大きいと感じます。
患者様に対して興味関心を持ちしっかりと向き合える、能動的に学び続ける力を育ててほしい(必ずしも入職時から高度な知識・技術を持っていることを求めています)
評価手技は当然として、観察から評価の順序を組み立てていくこと
世代背景の異なる人との直接的なコミュニケーション能力
患者様やご家族との信頼関係を築いたり、多職員といろいろな意見を交換できるためには、まずは人間関係構築力が備わっているといいなと思います。他には、成長しようという心、探究心、さらには実行力が現場においては必要であり、学校でも探究学習などがあるといいなと思います。
多職種連携に必要な違う職種とのコミュニケーション能力や、分からないことを分からないままにせず、自ら調べ探求しようとする姿勢